



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

新型コロナウイルス感染予防の徹底を！
市内でもクラスターが発生しました

気温の低下とともに、全国的に新型コロナウイルス感染者が増加しています。本市においても、介護老人保健施設で発生したクラスターでは、関連する感染者が多数に上っています。市では、11月3日の最初の発表を受けて即日「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、対応を協議するとともに、洲本健康福祉事務所と連携しながら、感染拡大防止のために最善の対応を行ってきました。その後、濃厚接触者も含めた幅広いPCR検査の実施などにより、感染者の拡大には歯止めがかかってきています。

しかしながら、油断は禁物です。市民の皆さまにおかれては引き続き、3密（密閉、密集、密接）を避ける、周囲に人がいる時はマスクを着用する、手洗いや手指の消毒をこまめに行う、発熱や風邪の症状がある場合には外出をしないなど、従来の取り組みを一層徹底していただきますようお願いします。

特に注意すべきは「換気」です。これからは、ますます寒くなり、暖房のため部屋を閉め切ってしまうがちです。空気が乾燥し、インフルエンザなどの感染症の同時流行も懸念されています。こまめな換気について、皆さま方の一層のご協力をお願いします。

もしも、発熱等の症状がある場合は地域の医療機関（かかりつけ医等）にまずは電話で相談いただくか、相談先に迷う場合は「洲本健康福祉事務所（☎26-2062、平日の午前9時から午後5時30分）」や「新型コロナ健康相談コールセンター（☎078-362-9980、土日祝日含む24時間受付）」へご相談ください。市ホームページにも、新型コロナウイルス感染症に関する情報を集約していますので、ぜひご覧いただきたいと思ひます。

感染予防に十分注意を払っていただく一方で、市民の皆さまにお願いしたいのが、感染した人やその家族、医療関係者の皆さま方の人権を尊重し、憶測やデマなどによる誹謗中傷を防止するとともに、あなた自身が風評被害に加担されないようにしていただきたいということです。市民が一丸となって、思いやりを持った対応を心がけましょう。

交通安全の徹底を

師走に入り、何かと気忙しい時期、交通安全には一層注意が必要です。所用で歩行者も増加する時期であり、特に気をつけていただきたいのが横断歩道です。横断歩道はご存じのとおり、歩行者優先であり、運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。

これまでも機会があるごとに横断歩道での歩行者優先をお願いしてまいりましたが、近頃、横断歩道で余裕を持って一旦停止し、歩行者の横断を促すドライバーを見かけることが多くなりました。ほっこりとうれしい気持ちになります。今年一年の市民の皆さま方の市政へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き、新型コロナウイルス感染予防と交通安全へのご協力をお願いします。

福良沖に浮かぶメガフロート

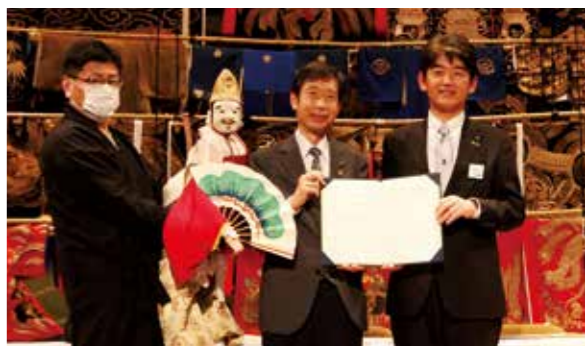


メガフロート存続の方針
市長へ提言書を提出

メガフロートの存続について議論してきた「浮体式多目的公園（メガフロート）あり方検討会」が、11月5日、存続方針をまとめた提言書を守本市長へ提出しました。検討会は、地域住民や漁業、観光、行政関係者らで構成され、9月から計3回にわたり会合を開催。津波による漂流の可能性が低い

ことや、老朽化診断の結果に問題がなかったことなどにより、存続の方針としました。また、災害時の輸送拠点としての利用や、観光との連携、社会教育などの多目的な活用案についても提言しました。検討会の原孝委員長は「さまざまな分野で有効活用してほしい」と話しました。

協定を締結した明治安田生命保険相互会社神戸支社の瀧野瀬支社長（左）と守本市長



島内3市と明治安田生命が協定
健康増進・地域振興をめざす

淡路島内3市と明治安田生命保険相互会社は、市民の健康増進や観光・スポーツ・文化の振興などを目的とした包括連携協定を結びました。同社と県内自治体との締結は初となりました。協定により、同社と南あわじ市は今後、スポーツ教室や道の駅での健康増進イベントの開催、人形浄瑠璃の広報活動などに取り組み、

健康寿命の延伸や観光PRを図ります。10月26日には淡路人形座で、同社と南あわじ市との協定締結式が行われ、守本市長と同社神戸支社の瀧野瀬支社長が協定書に署名。瀧野瀬支社長は「地域の元気づくり役に役立つよう、さまざまな形でサポートしていきたい」と話していました。

おいしく・楽しく・安全に
学校給食にそうめん寄贈

コロナ禍の中、子どもたちに給食の時間を楽しんでもらおうと、株式会社八勝長谷製麺（福良）と森の木ファーム株式会社（賀集）から市に手延べそうめん50キの寄贈がありました。そうめんは、森の木ファームの障害者らが収穫した淡路島産の小麦を使用し、八勝長谷製麺が製麺。弾力と甘味が特徴です。

10月29日に、市内の幼稚園と小中学校の給食で提供されました。



そうめんを寄贈する八勝長谷製麺の里村茂さん(左)と森の木ファームの松本守史代表取締役(中央)

未来を担う子どもたちへ
保育施設に絵本を寄贈



絵本の読み聞かせを楽しむ八木保育所の園児ら

株式会社あべいすと（洲本市）から、市内保育所など21施設に絵本が寄贈されました。子どもたちに豊かな感性を養ってほしいと、平成28年から絵本を寄贈されており、今回で5回目です。11月5日、八木保育所で寄贈された絵本の読み聞かせがあり、子どもたちは熱心に聞き入っていました。



「吉備国際大から世界へ」
守本市長の講義がありました

10月21日、1年生の必修科目「吉備国際大から世界へ」に守本憲弘市長をゲストスピーカーとしてお招きし、登壇していただきました。

講義の中で、市長自身が社会に出て経験したことを踏まえ、「地域貢献ボランティア」など地域との交流に参加し、地域の問題や課題を見つけ、解決する方法を

考える力、将来的に関わっていく素地を作る力をつけてほしいと話がありました。また、新入生の多くが島外出身者だったこともあり、南あわじ市の魅力についても紹介いただきました。学生も話に真剣に耳を傾け、問い掛けに対して積極的に手を挙げて答えていました。

学生がこの講義を通じて今後どのように考え行動し、活躍していくのかとても楽しみです。



※この講義はオンラインで未入国の留学生にも配信しています

同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎42-4700